

検 定 意 見 書

受理番号 106-105		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	巻頭4	写真10	「道教寺院（台湾）」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 （写真の撮影場所）	3-（3）	
2	18	表1	「石見銀山と後期倭寇の関係」中、「44～ 倭寇が日本銀を中国に直接運ぶ」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （年次）	3-（3）	
3	23	図1	鉄道開通当時の横浜の地図	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （本文24～25行目に照らして、地図から横浜駅の近くに外国人居留地があることが読み取り難い。）	2-（14）	
4	31	図5	江戸時代の主要航路	生徒にとって理解し難い図である。 （「加賀」と「○」の関係）	3-（3）	
5	52	囲み1	「ギュルハネ勅令（1839年）とアブデュルメジト1世」中、「兵士の徴収方法」	誤記である。 （「徴収」）	3-（2）	
6	104	図2	『中央公論』第35巻新年号目次（1920年1月）	誤記である。 （「祖国の時代」「河津逞」）	3-（2）	
7	128	囲み2	ロイヤル米陸軍長官の演説（要訳）	誤記である。 （「要訳」）	3-（2）	
8	139	図2	「冷戦期の東アジアの白地図」	生徒が誤解するおそれのある図である。 （当時の国境）	3-（3）	
9	150	図1	「中東・アフリカ諸国の独立と独立後の紛争地」	生徒が誤解するおそれのある図である。 （トルコの状況）	3-（3）	
10	158	グラフ2	各国の経済成長率（アメリカ、西欧、日本、ソ連）	生徒にとって理解し難いグラフである。 （グラフの作成法）	3-（3）	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号		106-105		学校	高等学校	教科	地理歴史	種目	歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準					
	ページ	行								
11	167	年表	「世界のおもな出来事」中、「一九八五　ソ連で「ペレストロイカ」がはじまる」	相互に矛盾している。 （194ページ「世界史年表」中、「東ヨーロッパ・ロシア　86　ペレストロイカ始まる」）	3-(1)					
12	171	17 － 19 左	鄧小平は、ノルマンディーのバイユーに向かい、現地の工場で働きながら、バイユー大学で学びはじめた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （鄧小平が学んだ学校）	3-(3)					
13	186	グラフ 2	在日外国人数（出身国・地域別）の推移	生徒にとって理解し難いグラフである。 （グラフの作成法）	3-(3)					

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-106		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	18	写真3	「16世紀の条約文書」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (時期)	3-(3)	
2	20	表1	「石見銀山と後期倭寇の関係」中、「44～ 倭寇が日本銀を中国に直接運ぶ」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (年次)	3-(3)	
3	33	図7	江戸時代の主要航路	生徒にとって理解し難い図である。 (「加賀」と「○」の関係)	3-(3)	
4	60	下囲み	「中国の海関」中、「南京条約で5港が開港され、その開港場に設けられた海関を洋関という。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (洋関成立の経緯)	3-(3)	
5	67	左13-16	万博は・・・特にパリでは、1855年から1900年までの間に4回開催された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (パリでの万博の開催状況)	3-(3)	
6	82	写真3	「第2インターナショナル」中、「第2インターナショナル・・・写真は1895年。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1895年の第2インターナショナルの写真であるかのように誤解する。)	3-(3)	
7	93	囲み9	「台湾議會設置請願理由書(1923年)」(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典資料の原文との関係)	3-(3)	
8	111	左19-21	結局、サモアは東西に分割されて、それぞれアメリカ・ドイツ両国が領有した。その後、西サモアはドイツから独立するが、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (西サモア独立の経緯)	3-(3)	
9	117	写真4	朝鮮博覧会に展示された文化住宅(1930年)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「1930年」)	3-(3)	
10	147	右9-11	19世紀末にホセ・リサルららが独立のためにフィリピン民族同盟を結成し、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (結成の目的)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-106		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	164	右7	アフガニスタン戦争	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (名称)	3-(3)	
12	166	図1	「南アジア・アフリカ・中東諸国の独立と独立後の紛争地」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (トルコの状況)	3-(3)	
13	179	20	キッシンジャー大統領補佐官（在職1969-74）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (在職期間)	3-(3)	
14	181	左下表	「世界のおもなできごと」中、「1985ソ連でペレストロイカはじまる」	相互に矛盾している。 (208ページ「世界史年表」中、「東ヨーロッパ・ロシア 86 ペレストロイカ始まる」)	3-(1)	
15	193	右23-24	北緯38度線や台湾海峡などの軍事境界線が、今後変化していく可能性もある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (北緯38度線や台湾海峡が軍事境界線であるかのように誤解する。)	3-(3)	
16	198	グラフ1	在日外国人数（出身国・地域別）の推移	生徒にとって理解し難いグラフである。 (グラフの作成法)	3-(3)	
17	201	左13-17	これまで自力で人工衛星を地球周回軌道に乗せることができたのは、年代順にソ連（ロシア）、アメリカ、フランス、日本、中国、イギリス、インド、イスラエル、イラン、北朝鮮の10か国	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (これまで自力で人工衛星を地球周回軌道に乗せることができた国)	3-(3)	
			であるが、			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-107		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	折込み 5	31 － 33	しかし第4代正統カリフのアリーがシリア総督との戦いにやぶれたのち、イスラーム世界最初の王朝としてウマイヤ朝が創始された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ウマイヤ朝創始の経緯)	3-(3)	
2	折込み 5	表	西アジア関連年表	生徒が誤解するおそれのある表である。 (「前5000」)	3-(3)	
3	折込み 7	表	ヨーロッパ関連年表	生徒が誤解するおそれのある表である。 (「紀元」と「27 ローマ, 元首政(帝政)となる」との関係)	3-(3)	
4	折込み 8	写真4	「ミケランジェロ「最後の審判」」中, 「ヴァチカンのシスティナ大聖堂の正面に描かれた大壁画。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「システィナ大聖堂」)	3-(3)	
5	29	図4	アムステルダムに帰還するオランダ東インド会社の艦隊	生徒が誤解するおそれのある図である。 (図とタイトルの関係)	3-(3)	
6	30	側注1	コーヒーは、もともと北アフリカ原産であったが、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (コーヒーの原産地)	3-(3)	
7	82	左囲み	「明治改元と一世一元の制」中, 「朝廷が, 社会や国家に異変があるたびに, 中国の古典を参照して年号を定めていた。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (朝廷が年号を定める理由)	3-(3)	
8	95	側注2	ボアソナードが起草し, 1890年に公布された民法は, 個人主義的だとして施行が無期延期され,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ボアソナードが起草し, 1890年に公布された民法の施行が無期延期されたかのように誤解する。)	3-(3)	
9	115	左囲み	「沖縄の人々の反応」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典資料の原文との関係)	3-(3)	
10	132	図2	第一次世界大戦後のヨーロッパ	生徒にとって理解し難い図である。 (境界線)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-107		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	153	図5	「第1次五か年計画のポスター」中、 「人民の熱意があれば」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「人民の」）	3-(3)	
12	162	図2	第二次世界大戦中のヨーロッパ	生徒が誤解するおそれのある図である。 （スターリングラードの状況）	3-(3)	
13	195	表4	2019 アメリカ、INF全廃条約からの離 脱を通告	不正確である。 （年次）	3-(1)	
14	197	図2	アジア諸国の独立	生徒が誤解するおそれのある図である。 （台湾の現況）	3-(3)	
15	207	囲み	「鶴見良行『バナナと日本人』」中、 「フィリピンと日本に進出し、それぞ れに拠点を築いた。…こうしてフィリ ピンと日本はつながった。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （中略があるかのように誤解する。）	3-(3)	
16	212	10 － 12	天然ガスは、はじめは街灯 と などの 照明用途で使われていたが 及び 図2 銀座通のガス灯の点灯（1879 年、ガスミュージアム蔵）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （天然ガスが銀座通のガス灯の燃料に使われていた かのように誤解する。）	3-(3)	
17	223	14	自民党の小泉純一郎内閣は、2003年の 郵政選挙で大勝利し、	誤りである。 （年次）	3-(1)	
18	237	囲み	「内村鑑三「出征軍を送りて感あり」 （1904年）」中、「（『内村鑑三全 集』第3巻、現代語訳）」	誤りである。 （『内村鑑三全集』の巻数）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-108		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	折込み⑤	写真	『長篠合戦図屏風』（東京国立博物館蔵）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （所蔵館に照らして、資料名を誤解する。）	3-(3)	
2	11	7 － 8	バッハ（1685～1750）や・・・ショパン（1810～49）などの交響曲	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （バッハやショパンの楽曲の形式）	3-(3)	
3	15	グラフ8	化粧品生産額の推移（1931～45年）	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 （1943年の生産額）	3-(3)	
4	17	写真4	「ロンドンのテムズ川の汚染の風刺画」中、「公正な都市ロンドンに子孫を紹介するテムズ川の神父」	生徒が誤解するおそれのある図である。 （絵の主題）	3-(3)	
5	20	中図	「16世紀の世界」中、海南島の塗色	生徒が誤解するおそれのある図である。 （当時の海南島の状況）	3-(3)	
6	23	図6	オランダ東インド会社艦隊のアムステルダム帰還	生徒が誤解するおそれのある図である。 （図とタイトルとの関係）	3-(3)	
7	24	11 － 14	国内の反乱により明が滅び、中国東北部の女真族が建国した清が中国全土を支配し、朝鮮に対して臣従をせまった。軍事的緊張のなか、朝鮮は南部の警戒と軍備を削減するために日本との関	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （時系列）	3-(3)	
			係を正常化し、やがて清に臣従した。			
8	25	写真7	クナシリの首長のツキノエ（ブサンソン美術考古博物館蔵）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （所蔵館名）	3-(3)	
9	26	写真1	江戸城に登城する琉球王尚益の行列（1710（宝永7）年）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「琉球王尚益の行列」）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-108		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
10	33	図5	清の版図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (同図キャプションには「清は・・・遷界令を出した。」とある。)	3-(3)	
11	55	表5	「幕末の動き」中、「八月十八日の政変 1863」	生徒にとって理解し難い図である。 (54ページ19～20行目「薩摩藩は…長州藩を京都から追放した（八月十八日の政変）。」に照らして)	3-(3)	
12	70	写真2	「カーライル＝インディアン実業学校（白人の寄宿学校）に入学したオハマ族の少年たち（1880年）」	誤植である。 (「オハマ族」)	3-(2)	
13	72	下表	「ヨーロッパ」「アジア」「日本」中、「1895 三国干渉」	生徒にとって理解し難い表である。 (「1895」が、「1897」と「1898」の間にある。)	3-(3)	
14	79	側注3	日清戦争での日本軍の死者総数は1万3500人で、このうち約1万2000人が伝染病による病死であった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「伝染病による病死」者数)	3-(3)	
15	86	グラフ3	蚕卵紙輸出枚数	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (1866年、1868年～1870年の輸出枚数)	3-(3)	
16	90	右下囲み	資料（全体）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典資料の原文との関係)	3-(3)	
17	102	右上囲み	「レーニンの四月テーゼ」中、「四、すべての国家権力を労働者代表ソヴェトにうつす必要を宣伝する。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (第四項全文であるかのように誤解する。)	3-(3)	
18	119	上囲み	「林壽夫「南洋開明の途上に」（『南洋群島』創刊号、1935年2月）」中、「これが満州国建国後に於ける、…更にその四方とその南方に向って、…南方豊庫扉を開いて貰いたいのである。」	誤記である。 (「建国」、「四方」、「南方豊庫扉」)	3-(2)	
			」			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-108		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
19	135	図5	「第二次世界大戦中のヨーロッパ」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (レニングラードとスターリングラードの状況)	3-(3)	
20	141	図3	「第二次世界大戦後のヨーロッパ」中 ，「鉄のカーテン」 (229ページ左下図も同様。)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (位置)	3-(3)	
21	148	写真2	「ポーランドに組み込まれたドイツ東部から強制送還されたドイツ人の子どもたち(1948年8月)」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (時期)	3-(3)	
22	161	図5	「核保有国一覧」	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
23	165	5 - 6	作家石牟礼道子は『苦界浄土 わが水俣病』を1969年に刊行し，	誤記である。 (「苦界」)	3-(2)	
24	168	図2	「沖縄の位置」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (マクマホン・ライン，朝鮮半島中部の線，図下部の「100°」「140°」)	3-(3)	
25	175	12 - 13	パレスティナ問題に関する現在の課題は，①約500万人のパレスティナ難民の帰還問題，	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人数)	3-(3)	
26	175	写真3	「インティファダ(1992年)」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (写真のテーマ)	3-(3)	
27	182	下表	「アジア」中，「2003 北朝鮮，核拡散防止条約脱退」	生徒が誤解するおそれのある表である。 (北朝鮮が核拡散防止条約を正式に脱退しているかのように誤解する。)	3-(3)	
28	185	9 - 13	アメリカは・・・さらに2003年にはイラク戦争をおこした。アメリカは・・・国連の安保理決議を経ずに単独でも先制攻撃が許されるとする単独行動主義をとった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イラク戦争にいたる過程)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-108			学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
29	188	グラフ 3	正規・非正規労働者の人数推移	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (1985年の非正規の職員・従業員数，2010年の非正規の職員・従業員の割合)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-109		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	表見返		「現代の世界」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (サウジアラビア・イエメン間の国境線)	3-(3)	
2	7	資料2	「「玉音放送」を聞いて」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中略部分の存在)	3-(3)	
3	26	グラフ	日本の業種別工場労働者数 (1909年)	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (「(千人)」)	3-(3)	
4	27	下囲み	「中世ヨーロッパのトランペット」中，楽譜	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ド・ソ・ド・ミ・ソ・シ♭…」の音(自然倍音)しか出すことができない」に照らして，1の音の記譜は理解し難い。)	3-(3)	
5	42	資料2	日清戦争経過図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「公州」の位置)	3-(3)	
6	42	囲み	「「国語」の成立」中，「国語学者の上田万年は，日清戦争のさなかの1895年に「国語と国家と」という講演をおこない，」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (上田万年が講演をおこなった年)	3-(3)	
7	44	資料5	「ネルーが見た日露戦争」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典資料の原文との関係)	3-(3)	
8	52	表8	「主要国の国際機関への参加状況」中，「中国(中華民国) 1945*3 *3 1972年以降は中華人民共和国」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国際連合における中国の代表権)	3-(3)	
9	68	資料5	日本の学校種別の在学者数	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (「高等学校」と「大学」の在学者数)	3-(3)	
10	94	左囲み	①教科書や世界史年表などからナショナリズムに関連するおもなできごとをぬき出して，その特色を下の表のようにまとめてみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「下の表」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-109		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	97	図6	「サッカークラブと外国資本」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (南樺太の状況)	3-(3)	
12	101	9 - 10 左	1940年から日本軍の侵略を受けたフランス領インドシナでは、	生徒にとって理解し難い表現である。 (82ページ15行目「1941年にフランス領インドシナ南部に軍隊を進駐させると、」及び153ページ年表「南・東南アジア 40 日本軍、仏領インドシナ進駐」に照らして、理解し難い。)	3-(3)	
13	106	資料1	「水爆禁止署名運動衫並ニュース」中、「1945年6月27日付」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発行年)	3-(3)	
14	112	資料2	「パンダ来日の新聞記事と中国によるパンダ贈呈先」中、表の「1971 北朝鮮」	生徒が誤解するおそれのある表である。 (1971年に中国から北朝鮮に贈呈されたパンダの頭数)	3-(3)	
15	115	資料8	「衆議院議員の政党別議員数と革新自治体数」中、「1975年時点の革新自治体」	生徒が誤解するおそれのある表である。 (1965年と1975年の革新自治体数(市区町村))	3-(3)	
16	119	6 右	1989年のバブル経済の崩壊以降は、	生徒にとって理解し難い表現である。 (117ページ資料6「日本の実質経済成長率の推移」中、「バブル崩壊以降」に照らして、理解し難い。)	3-(3)	
17	120	10 - 11 左	なお、1972年には日本と中国との国交回復がなされました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「日本と中国との国交回復」)	3-(3)	
18	120	8 - 17 右	ただし、日本社会では…契機になっています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文章の主語と前後のつながり)	3-(3)	
19	134	24 右	私たちにとって	脱字である。	3-(2)	
20	161		「国と都道府県」中、下囲み	生徒にとって理解し難い図である。 (上の図に照らして、大隅と日向の国境、縮尺について理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-109		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	裏見返	図	「16世紀の世界」中，「スペイン，ポルトガルの支配領域の境界線」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (境界線の性格)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-110		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	巻頭20	7 - 9 右	15世紀には、ヨーロッパ勢力も東南アジア海域の交易に参入し、東南アジアは世界各地の人々が集まる国際商業の十字路となった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ヨーロッパ勢力が東南アジア海域の交易に参入した時期）	3-(3)	
2	6	右下囲み	「国会開設の勅諭」中、「議員を招集し国会を開設する」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「招集」）	3-(3)	
3	8	写真1	「大陸横断鉄道」中、「19世紀末までに4本の大陸横断鉄道が敷設された（→p. 48）。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （鉄道の敷設状況）	3-(3)	
4	10	図	「16世紀の世界」	生徒が誤解するおそれのある図である。 （海南島の状況）	3-(3)	
5	13	図2	「明治時代に開かれた定期航路」中、「青字 開設年」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「青字」）	3-(3)	
6	15	右囲み	「徴兵告諭（1847年、日本）」	誤りである。 （年次）	3-(1)	
7	20	図4	「江戸時代の交通と主な特産品」	生徒が誤解するおそれのある図である。 （「陶磁器」の主な産地）	3-(3)	
8	27	グラフ4	「イギリスの綿花の消費量と生産地割合の変化」	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 （単位）	3-(3)	
9	32	右上囲み	「オランダ風説書に記されたフランス革命」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「1794年のオランダ風説書」に記述された「フランス革命の情報」と、史料「オランダ風説書（1794年）」及び写真6「オランダ風説書（重要文化財 江戸東京博物館蔵）」との関係）	3-(3)	
10	52	表6	「19世紀の東南アジアの主な輸出品」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （すずの輸出量）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-110		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
11	56	右下囲み	「幕府使節のアメリカ視察 海軍造船所の見学」中、「村垣範正著『航海日誌』」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (書名)	3-(3)
12	60	左中囲み	現在の日本では、イギリスで生まれた議院内閣制がとられている。この制度は明治時代から導入されているが、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (明治時代に日本で「議院内閣制」が制度化されていたかのように誤解する。)	3-(3)
13	64	グラフ4	「明治政府の初期の財政収入」中、「歳出の大きな割合を占めた士族への給付金は1873年に廃止された。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (廃止時期)	3-(3)
14	66	写真4	「シュタイン (1889～1951) 」	誤りである。 (生没年)	3-(1)
15	67	写真5	「牛鍋を食べる男性」中、「東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の所属)	3-(3)
16	68	右上囲み	「お雇い外国人が導いた文化財保護」中、「1949年に制定された文化財保護法」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (制定年)	3-(3)
17	76	図5	「日清戦争の推移」図中、「④1895年4月」及び「⑤1894年10月」	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例中「①～⑤は起こった順序」に照らして、理解し難い。)	3-(3)
18	79	囲み	「アジアから見た日露戦争」中、ネルー著からの引用文	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典資料の原文との関係)	3-(3)
19	88	写真9	「アメリカの原子力潜水艦「ノーチラス」の進水式 (1954年、アメリカ) 」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (写真の場面)	3-(3)
20	105	囲み	「糸つむぎについてのガンディーの考え」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典資料の原文との関係)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-110		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
21	106	図3	「第一次世界大戦後の中東・インドと18～19世紀の中東・インド（右上）」	不正確である。 （縮尺）	3-(1)
22	108	グラフ 2	「衆議院議員選挙の投票率の推移」グラフ中、「72.08」及び「初の女性参政権行使」	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 （時期）	3-(3)
23	118	写真11	「山田耕筰」中、「日本初のフィルハーモニー会の管弦楽団で指揮を任せられた。」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「日本初のフィルハーモニー会」）	3-(3)
24	119	12 － 13 右	震災記念堂（現在の東京慰霊堂）	不正確である。 （現在の名称）	3-(1)
25	145	写真1	「朝鮮戦争で壊れた橋の上を渡り避難する人々（1951年）」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 （撮影年）	3-(3)
26	150	表5	「主な女性の職業とその平均月収」	生徒が誤解するおそれのある表である。 （「女中」の平均月収）	3-(3)
27	168	資料5	「米ソの交渉とキューバの主張」中、「● フルシチョフがラジオで発表したケネディあてのメッセージ 10月28日」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （日付）	3-(3)
28	172	写真7	「アラファト（1929～2004）」中、「93年には暫定自治政府の大統領となった。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （アラファトが暫定自治政府の大統領となった時期）	3-(3)
29	175	写真3	「ビキニ環礁での水爆実験（1953年、マーシャル諸島）」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 （写真の場面）	3-(3)
30	175	写真4	「水爆実験による被爆症状を調べられる少年（1946年、マーシャル諸島）」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 （写真の場面）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-110		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
31	179	写真2	「沖縄県知事（左）と面会する佐藤栄作（1901～75、右）」及び同写真中、「沖縄県知事」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （写真の「面会」時の職名）	3-(3)	
32	180	13 － 14	51年、日本は台湾との間で日華平和条約を結び、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （結ばれた年）	3-(3)	
33	187	写真2	「コレラの恐怖を表した日本画（1886年）」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ジャンル）	3-(3)	
34	194	9 － 11	2003年3月、国連の容認がないままイギリスと共にイラク攻撃に踏み切り（イラク戦争）、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （イラク攻撃にいたる過程）	3-(3)	
35	194	上囲み	「欧米社会に暮らすムスリム」中、「フランスでは、2011年に公の場で顔を覆うベール（ブルカ）を禁止する法が成立し、」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （法の成立年）	3-(3)	
36	198	グラフ 5	「世界の男女格差を測るジェンダーギャップ指数（2023年）」	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 （アイスランドの政治指数）	3-(3)	
37	巻末2	表	「世界の歴史年表」中、「アメリカ・オセアニア 2001 アフガニスタン戦争（～21）」	生徒にとって理解し難い表現である。 （193ページ写真2及び194ページ図4中の「アフガニスタン紛争」に照らして、名称が理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-111		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	50	10 － 13	ロシアは1878年、ロシア＝トルコ戦争に勝利し、翌年のサン＝ステファノ条約で、ブルガリアを保護国とするなど、バルカン半島で勢力を広げた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （サン＝ステファノ条約締結の過程）	3- (3)	
2	71	7 － 9	1874（明治7）年には、開拓と防衛を担うべく北海道に旧士族を移住させる屯田兵制度がつくられた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「旧士族」）	3- (3)	
3	125	写真8	「『キング』創刊号（1925年）の表紙」中、「東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫蔵」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （現在の所属）	3- (3)	
4	130	11 － 13	1923（大正12）年9月1日、関東地方は強い地震に襲われた（関東大震災）。東京・横浜では火災が多発し、10万人以上の死者のほとんどは焼死といわれる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「10万人以上の死者」は、同ページ表10「関東大震災の被害状況」に照らして、理解し難い。）	3- (3)	
5	144	グラフ 7	「日本における各種の生産指数」中、「（1937年を100をとする）」	誤記である。	3- (2)	
6	212	側注6	関税及び貿易に関する一般協定（GATT、→p. 153）のウルグアイ＝ラウンドで、日本は外国産米の輸入を義務づけられた。最低輸入義務（ミニマム＝アクセス〈MS〉）は、初年度は国内消費	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「6年後には同6%」）	3- (3)	
			量の4%、6年後には同6%であった。			
7	237	年表	西アジア・南アジア・アフリカ 1588 サファヴィー朝、イスファハーンに首都を定める	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （イスファハーンに首都を定めた時期）	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-112		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	10	写真1	「東京の宮殿でおこなわれた憲法発布式の様子」中、「宮内庁公文書館蔵」	不正確である。 (所蔵者名)	3-(1)	
2	16	グラフ5	「イギリスにおける人口転換の模式図」	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (縦軸の単位)	3-(3)	
3	22	写真9	「衣食にみる身分の差」中、「『労農夜話』」	誤記である。	3-(2)	
4	41	10 － 11	翌年の第2回大陸会議では・・・武力による独立の方針が決定された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (第2回大陸会議で決定された方針)	3-(3)	
5	44	囲み4	「福沢諭吉『学問のすゝめ』(1872年)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中略部分の存在)	3-(3)	
6	47	表16	「オスマン帝国内の宗教別人口の割合(1844年)」中、「オスマン帝国内のヨーロッパ地域」の「ユダヤ教徒」	生徒が誤解するおそれのある表である。 (人口)	3-(3)	
7	49	写真22	投票場で脅す白人(ミシシッピ州、1875年)	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (年次)	3-(3)	
8	73	囲み8	「「日光山を日本帝国公園と為すの嘆願書」(1914年)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「嘆願書」)	3-(3)	
9	75	囲み7	「李鴻章(李)と駐清アメリカ公使ヤング(ヤ)の会話(1883年)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中略部分の存在)	3-(3)	
10	80	囲み3	「国際連盟規約(1919年)」中、「先の戦争の結果これまで支配国の統治を離れた植民地や領土で、……まだ自立しえない人々が居住しているところに対しては、」	脱字である。 (「これまで」)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-112		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	82	左下吹き出し	当時、大学卒の男性（男性の2％）の初任給は月給50～80円、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「当時」の示す時期）	3-（3）	
12	83	表12	「ラジオの価格」中、「ラジオ放送は1924年に開始し、」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （開始年）	3-（3）	
13	85	写真5	「新婦人協会第1回総会」中、「婦人協会は、」	脱字である。	3-（2）	
14	110	写真4	「百貨店の大食堂」中、「買い物をする場所」	誤記である。	3-（2）	
15	115	写真7	「原爆の投下」中、「広島平和祈念資料館」	不正確である。 （名称）	3-（3）	
16	116	年表	「日本」中、「1935 日独防共協定」	不正確である。 （年次）	3-（1）	
17	120	囲み3	「ヒトラーの演説（1924年）」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （年次）	3-（3）	
18	121	9 － 10	1929年に世界恐慌がおこると、ドイツでは失業率が30%をこえるなど深刻な危機が生まれた。	生徒にとって理解し難い表現である。 （同ページグラフ7に照らして）	3-（3）	
19	142	右下表	「世界」中、「1948 8 大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国成立」	生徒が誤解するおそれのある表である。 （朝鮮民主主義人民共和国成立の時期）	3-（3）	
20	155	囲み7	「近衛文麿「英米本位の平和主義を排す」」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （中略部分の存在）	3-（3）	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-112		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	155	囲み10	「吉野作造「人種差別撤廃運動者に与ふ」(1919年1月)」	不正確である。 (発表時期)	3-(1)	
22	155	囲み10	「吉野作造「人種差別撤廃運動者に与ふ」」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典資料の原文との関係)	3-(3)	
23	161	図8	「核兵器の保有状況(2019年)」中、北朝鮮の吹き出し「2003年にNPT脱退」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (北朝鮮がNPTを正式に脱退しているかのように誤解する。)	3-(3)	
24	167	写真6	「移民に反対するデモ(ドイツ)」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (写真の主題)	3-(3)	
25	195	14 - 18	1955年の衆議院総選挙では社会党左派・右派が・・・躍進し、再統一して改憲を阻止できる3分の1の議席を確保した。これに対して日本民主党と自由党は自由民主党を結成し、単独で過半数	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時系列)	3-(3)	
			の議席を確保して第2次鳩山内閣をつくった(1955年体制)。			
26	205 - 206	15 - 3	このため、・・・世界規模で第1次石油危機(オイル＝ショック)がおこった。・・・世界の原油輸出量の約70%を占める西アジア(中東)諸国は、こうした巨額の原油収入により、国際的	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (西アジア諸国が世界の原油輸出量で占める割合)	3-(3)	
			な政治的発言力も高めていった。			
27	232	5 - 11	1994年発効の北米自由貿易協定(NAFTA)は、カナダ・アメリカ合衆国・メキシコ3国からなる自由貿易圏である。・・・日本企業にとっても、人件費の安いメキシコで生産し、アメ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (北米域内の貿易協定の経緯と現状)	3-(3)	
			リカ市場で販売するなど、重要な貿易圏となった。 (230ページ図4「おもな国際機構と地域統合」中、「NAFTA」も同様。)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-112		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
28	233	14 - 21	アジアから南北アメリカ大陸にまたがる自由貿易圏を創設したのが環太平洋パートナーシップ（TPP）協定である。・・・2017年にアメリカが離脱を宣言したが、アメリカ以外の11ヵ国で環	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （イギリス加入に関する経緯）	3-(3)	
			太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（TPP11協定〈CPTPP〉）に大筋合意し、18年末に発効した。2020年にはイギリスが加入した。			
29	234	囲み3	「ボスニア紛争」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （中略があるかのように誤解する。）	3-(3)	
30	238	3	「アフガニスタン戦争」 （249ページ表「年表」，「アフリカ・西アジア・南アジア・東南アジア」中，「2001・・・（アフガニスタン	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （名称）	3-(3)	
			戦争）」も同様）			
31	241	グラフ 12	「仕事のパートナーとしての人工知能（AI）の可能性とそれに対する抵抗感」凡例中，「日本 n=1.106」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「n=1.106」）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-113		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	表見返	図	「現代の世界」左下のヨーロッパ拡大図	生徒にとって理解し難い図である。 (本初子午線上にある「(イ)」)	3-(3)	
2	17	囲み7	「給食の廃止をめぐる大臣たちの発言」中、C「教育上のことは知らぬが、食料政策としては非常によい…」	誤記である。 (「食料」)	3-(2)	
3	26	図1	16世紀末の世界	生徒が誤解するおそれのある図である。 (朝鮮半島の状況)	3-(3)	
4	32	図3	三角貿易	生徒にとって理解し難い図である。 (銀の流れが記されていない。)	3-(3)	
5	51	囲み5	「日朝修好条規（現代語訳）」中、「1 朝鮮国は…日本国と対等の外交権をもつ。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「対等の外交権」)	3-(3)	
6	131	1 - 3	この事件は反核兵器運動が高揚するきっかけとなり、57年にはラッセル(1872～1970)やアインシュタイン(1879～1955)らの科学者が会議を開いて核実験禁止や核兵器の廃絶を訴えた	生徒にとって理解し難い表現である。 (1957年のバグウォッシュ会議とアインシュタインとの関係)	3-(3)	
			(バグウォッシュ会議)。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-114		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	11	上表	「0」	生徒にとって理解し難い表である。 (年次)	3-(3)	
2	34	図1	長崎港のようす	生徒にとって理解し難い図である。 (長崎奉行所の所在)	3-(3)	
3	39	13 - 15	関西の綿、関東の生糸、琉球の砂糖、瀬戸内地域の砂糖・塩などの商品作物の生産がさかんとなった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべてが「商品作物」であるかのように誤解する。)	3-(3)	
4	41	図11	「芝蘭堂の新元会（オランダ正月）」中、「大黒屋光太夫か」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「大黒屋光太夫か」とされる人物について誤解する。)	3-(3)	
5	45	図5	18世紀なかごろの世界	生徒が誤解するおそれのある図である。 (清の版図)	3-(3)	
6	66	図1	浅瀬を渡る船ひき	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (所蔵館)	3-(3)	
7	74	3	オスマン帝国（1229ころ～1922）	不正確である。 (年次)	3-(1)	
8	115	グラフ 7	インド系・中国系住民の割合(2021年)	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (シンガポールの「総人口579万人」及びマレーシアの「総人口3,204万人」)	3-(3)	
9	139	図11	「日本の月刊大衆雑誌『キング』（1925年）」中、「東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の所属)	3-(3)	
10	155	写真5	「配給所にならぶ人々（1940年）」中、「成人1日2合3勺（約350g）となり」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「2合3勺（約350g）」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-114		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	165	18 － 19	北に金日成（在任1948～94，72年以降国家主席）を首相とする朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が成立した。	不正確である。 （首相在任期間）	3-(1)	
12	181	13 － 14	マレーシア連邦となった。……マレーシア連邦から分離・独立した。	不正確である。 （国名）	3-(1)	
13	185	8 － 9	キューバでは1959年、カストロ（在任1959～2008，76年以降国家評議会議長）が親米的なバティスタ政権を打倒した(キューバ革命)。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「在任1959～2008」の在職名）	3-(3)	
14	210	11	湾岸戦争(1990～91)	不正確である。 （年次）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-115		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	10	写真1	「三内丸山遺跡」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (写真中の集落の状況)	3-(3)	
2	11	上表	「0」	生徒にとって理解し難い表である。 (年次)	3-(3)	
3	15	写真7	「豊臣秀吉(1537～98) 高台寺蔵」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (所蔵者)	3-(3)	
4	33	14 - 15	関西の綿、関東の生糸、琉球の砂糖、瀬戸内地域の砂糖・塩などの商品作物の生産がさかんとなった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべてが「商品作物」であるかのように誤解する。)	3-(3)	
5	34	写真3	「江戸時代後期的那覇港」中、「琉球王国の船が中国の物資を載せて寄港したところ。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「寄港」)	3-(3)	
6	51	グラフ 8	「世界の工業生産に占める各国の割合」	表記の基準によっていない。 (横軸の間隔)	3-(4)	
7	96	写真1	「二月革命」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (横断幕の日本語訳)	3-(3)	
8	112	写真7	「にぎわう映画館 (ニューヨーク、1926)」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (年次)	3-(3)	
9	113	写真14	「『キング』」中、「東京大学法学部明治新聞雑誌文庫」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の所属)	3-(3)	
10	124	写真1	「移動講演会」中、「1943年、東京市は、・・・軽トラックでの移動講演会を各地で開催した。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (車両の種類)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-115		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 歴史総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基準	
	ページ	行				
11	135	13 － 14	北に金日成（在任1948～94、72年以降 国家主席）を首相とする朝鮮民主主義 人民共和国（北朝鮮）が成立した。	不正確である。 （首相在任期間）	3-(1)	
12	165	写真3	「ザ・タイガース」中，「1967年結成 」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （経歴）	3-(3)	
13	172	10	湾岸戦争（1990～91）	不正確である。 （年次）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。